報 道 発 表

国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research NIER

令和８年１１月４日

国立教育政策研究所　令和８年度公開シンポジウム
子供の学びを支える教育データ利活用～現場に役立つ教育データサイエンスを目指して～
を開催します

GIGA スクール構想等により教育データの蓄積が進む中、教育データをどのように活用したらよいのだろうか？この問いに対して広く皆さんとともに考えるべく、国立教育政策研究所では、「子供の学びを支える教育データ利活用～現場に役立つ教育データサイエンスを目指して～」をテーマに「令和８年度公開シンポジウム」を開催します。

１．趣旨

大規模アセスメントから日々の学習指導に至る多様な教育データを学校現場の指導改善や自治体の教育施策に活用し、個に応じた学習指導の実現を目指す取組が進められています。本シンポジウムでは、３か年にわたり取り組んできた実践事例から、子供の学びを支える教育データ利活用とは何かを考え、現場に役立つ教育データサイエンスのあり方を展望します。

※　本シンポジウムは、国立教育政策研究所プロジェクト研究「個に応じた学習指導のための教育データ利活用の基盤形成に関する調査研究」の研究進捗報告会を兼ねています。

２．日時

令和８年１２月２１日（月）　１３：３０～１６：１０

３．開催方法と会場

ハイブリッド開催（対面およびオンライン）
文部科学省　東館３階講堂

４．主なプログラム

基調講演
「子供の学びを支える教育データ利活用 ～次期学習指導要領の方向性も踏まえて～」
堀田　龍也（東京学芸大学　副学長（先端教育人材育成推進・FU 事業・情報））

国立教育政策研究所プロジェクト研究進捗報告
・プロジェクト研究全体概要説明
増子　則義（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター長）

・研究進捗報告
事例１：教室における、児童の学習過程データから見えること
岸本　直樹（京都市立新町小学校　校長）
塚田　雄大（京都市立新町小学校　教諭）

白水　始　（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター　副センター長/初等中等教育研究部　部長）
飯窪　真也（国立教育政策研究所　初等中等教育研究部　総括研究官）

事例２：学校における、大規模調査や授業のデータから見えること
奥村　太一（滋賀大学　データサイエンス学部　准教授）
尾下　英夫（堺市教育センター能力開発課　課長）
寺尾　香那子（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター　研究員）
岩間　裕美（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター　コンピュータ使用型調査推進課　課長）

事例３：複数学校における、心の健康観察などの時系列データから見えること
高見　享佑（大阪教育大学 理数情報教育系 准教授）
庭山　和貴（大阪教育大学 総合教育系 准教授）
安倍　紫　（大阪市総合教育センター所長）
平　千枝　（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター　学習データ活用調査官）

・総括
美馬　秀樹（国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター　総括研究官）

５．参加申込み
オンライン申込み：本研究所 HP（https://www.nier.go.jp/）→「新着情報一覧」→国立教育政策研究所 令和８年度公開シンポジウム
または以下の URL、二次元バーコードからお申込みください。
https://form.run/@kokaisymposium-entry

６．取材申込み
当日の取材を御希望の際は、社名・氏名・連絡先等を令和８年１２月１４日（月）の１２時までに、nier-edsc@mext.go.jp へメールにて御連絡くださるようお願いいたします。

（お問合せ先）
国立教育政策研究所　教育データサイエンスセンター
データ基盤課
電話：０３－６７３３－６９２５（直通）

国立教育政策研究所　令和８年度公開シンポジウム

子供の学びを支える教育データ利活用

参加無料

～現場に役立つ教育データサイエンスを目指して～

大規模アセスメントから日々の学習指導に至る多様な教育データを学校現場の指導改善や自治体の教育施策に活用し、個に応じた学習指導の実現を目指す取組が進められています。本シンポジウムでは、３か年にわたり取り組んできた実践事例から、子供の学びを支える教育データ利活用とは何かを考え、現場に役立つ教育データサイエンスのあり方を展望します。

令和8年

12月21日（月）

13:30～16:10（受付13:00～）

場所

文部科学省東館3階講堂
（東京都千代田区霞が関三丁目2番2号）

対面とオンラインのハイブリッド形式
【定員】　会場150名、オンライン500名

参加方法

本研究所ホームページ「イベント情報」の特設サイトおよび右記の二次元コードからお申込みください。
https://form.run/@kokaisymposium-entry

申込期限

2026年12月14日（月）
※会場参加は定員になり次第締切り

お問い合わせ　令和8年度公開シンポジウム申込受付事務局
株式会社アイフィス（国立教育政策研究所からの受託業者）
【TEL】03-5395-1202　【E-mail】nier.sympo@ifys.jp

主催　文部科学省 国立教育政策研究所 NIER National Institute for Educational Policy Research

子供の学びを支える教育データ利活用
～現場に役立つ教育データサイエンスを目指して～

【日時】　令和8年12月21日(月)　13:30～16:10(受付13:00～)

プログラム

13：30　**開会挨拶**　塩見みづ枝（国立教育政策研究所長）

■基調講演

13：35　**子供の学びを支える教育データ利活用 ～次期学習指導要領の方向性も踏まえて～**
堀田　龍也（東京学芸大学 副学長（先端教育人材育成推進・FU 事業・情報））

■国立教育政策研究所プロジェクト研究進捗報告

14：00　**プロジェクト研究全体概要説明**
増子　則義（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター長）

14：10　**【事例１】教室における、児童の学習過程データから見えること**
岸本　直樹（京都市立新町小学校長）
塚田　雄大（京都市立新町小学校教諭）
白水　　始（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター副センター長 / 初等中等教育研究部長）
飯窪　真也（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官）

14：40　**【事例２】学校における、大規模調査や授業のデータから見えること**
奥村　太一（滋賀大学 データサイエンス学部准教授）
尾下　英夫（堺市教育センター能力開発課長）
寺尾香那子（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター研究員）
岩間　裕美（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンターコンピュータ使用型調査推進課長）

15：10　休憩（10 分）

15：20　**【事例３】複数学校における、心の健康観察などの時系列データから見えること**
高見　享佑（大阪教育大学 理数情報教育系准教授）
庭山　和貴（大阪教育大学 総合教育系准教授）
安倍　　紫（大阪市総合教育センター所長）
平　　千枝（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター学習データ活用調査官）

15：50　**総括**　美馬　秀樹（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター総括研究官）

16：00　**閉会挨拶**　大野　彰子（国立教育政策研究所 所長代理）